

いけだ エコキャンドル

自治体情報

人 □ 3,396 人

標準財政規模 1,940,094 千円

担当課 福井県 池田町 総務政策課

電話 0778-44-8004

ホームページ http://ecoikedajp/wp_ecocandle/

事業期間 平成 19 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

池田町では、環境向上基本計画を住民の手で完全製作するなど、地域の人が考え行動する環境まちづくりに取り組んできたが、環境を守るための行動変革を実現するには、1人ひとりの意識を変えなければならないという大きな課題と限界を感じており、これを乗り越える必要性があった。

2 事業内容（目的・目標・方策）

(1) 目的

そこで、役場・環境パートナー池田・環境Uフレンズが連携し、環境だけに限らず日々を振り返り明日に歩み出すための「心に灯をともし」場を提供することで、意識の変化が期待できると考え、これを目的に協働での環境イベントを企画した。

(2) 事業準備過程

事業準備にあたっては、芯づくりを老人会などをお願いしたり、小中学校の給食で出る牛乳瓶のフタを集めてもらうなど、実行委員会に限らず広く町民が参加して、総出でのイベント準備を行っている。なお、キャンドルは池田町で廃油の回収・資源化を行う菜の花プロジェクトにより集められた廃油を利用している。

(3) 町ぐるみでのイベント準備と実施

イベント当日は、参加者全員が（当日来たお客さんも）灯を灯し、全員が灯されたキャンドルをみながら感動。そこで感じた優しい心を、環境行動やまちづくりに生かしていくことにつながっている。

(4) イベント内容（主なもの）

① キャンドル畑

キャンドル 7,000 個を利用して大きな火のデザインを表現する。

② キャンドルステージ

キャンドルで飾られたステージで、素敵で優しい音楽を参加者に届ける。



③ グループアート

グループアートコーナーは、全国各地から募集をかけ、東京の大学生や奈良県庁スタッフの参加がある。4m四方にそれぞれの想いをデザインして500個のキャンドルを並べる。個性の交流によって、単なる環境イベントを超えたまちづくりの交流にもなっている。

④ 食のブース

地域の素材で作ることを出店条件とし、地域の人が、足もとの農産物を工夫して美味しく、心あたたまる食を開発し提供している。



3 施策の開始前に想定した事業効果

住民が自らの町や家族や環境のことを考え、主体的に地域に関わっていくという心をもってもらう効果を期待した。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

住民の力を合わせていくために、事務局による関係者とのディスカッションや、エコキャンドルを行う意味を住民みんなに伝えることに苦労した。

しかし、こうした課題も、行政と民間の合同型実行委員会という形が効果的に働いたことと、協働することの「充実感」を知ったことで、乗り越えることができ、まちづくりの充実感が大きいものとなった。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

4年連続開催し、5,000人も人が集まるイベントに成長。今後も地域住民の心をつなげるイベントとして取り組んでいきたい。

予算関連データ 池田町

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,000千円		0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					